

公表:令和6年3月18日

事業所名 じゅにあサポートかのん

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	・活動の人数や内容によって活動場所を検討している	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	・5人いることで安心して見守りができると感じる。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0	・朝と昼の職員打ち合わせに加えて、そのつど問題に対して職員間で話し合いをしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	2	・第三者委員会を設けていない	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・半年に一回以上の法人内会議での勉強会や外部研修への参加を行っている ・法人内研修を実施。外部研修やzoomでの研修にも参加 ・月に1度、法人内研修会を実施しており、時期に合わせた研修等を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	・保護者とのアセスメントは行っているが、利用者本人のニーズまで聞いているのか不安はある。	・次年度からは利用児とのお話通してニーズ調査していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	・Vineland-IIを用いてアセスメントをしているが、新しい職員等は講習会を受けていないため今後とれる職員を増やしていきたい。 ・Vineland-II WAVESを必要に応じて活用している。	・次年度法人内研修にてアセスメントツールに関する研修を予定している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	・活動のメンバーや内容について職員間で検討している 職員間で活動で何を行うかなど話し合いをしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	・個人の考えでは片寄りがち。他の職員との意見交換しながら、取り入れていく。他事業所での活動を参考に、子供たちに合わせて工夫して行う。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・午前、午後で打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	・全員での振り返りのタイミングが児童が帰った後のため、もう少し早いタイミングで情報共有が出来ると保護者へも伝えやすくなると思う。 ・近くの職員には都度報告をおこなっている。その場に居ない(送迎等)職員には次の日の朝の打ち合わせでお伝えしている。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2	0	・個別計画に合わせたケースの書き方に悩みがある。 ・簡略化してかくようにしている。	・次年度から5領域で記録を書いていく。書き方については職員で話し合いを行っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	3	0	・学校によって密に情報共有できているところとそうでないところの差がある。 ・学校によつての差があると感じる。	・次年度保育所等訪問支援も始まるため、もっと密に連携できるように調整していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	3	・医療的ケア児童の受け入れを現時点では行っていない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	・児童発達支援事業所との情報共有は行いが、保育園や幼稚園等との情報共有は出来ていない ・移行前の児童発達支援事業所との引き継ぎを行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	0	3	・小学4年生までの利用のため、上級生向け事業所へ移行後は進路等への関与及び情報共有はしていない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	4	・児童クラブに通っている児童は児童クラブ内で活動しているが、じゆにあとしての関わりはほぼ無し。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・当日の子供の様子を伝えたり等しているが、混雑状況等によって伝えきれない場面もある	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	・保護者様から相談があった際には話を聞き、職員間で情報共有や支援内容について話し合いを行いながら対応している	
関係機関や保護者との連携							
保護者への							

説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	0	・今年度からパパママ応援講座という名目で保護者に集まっていたり、話したりできる機会を設けている。参加率は低いながらも幅広く参加できるように声掛けをしていきたい。 ・保護者向け研修会を実施し、その中で保護者同士が話をする機会を設けている	・保護者への声掛けをしながら参加を募っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	・いつ何時でも苦情等があったときには対応できるように心構えはしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	・ブログでの発信は出来ていない場面も多く、時間配分をしながら周知していけるように次年度頑張っていく。	・年間行事を配っていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	3	地域住民との交流の場はない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	0	・食物アレルギーへの配慮はしているが、医師の指示書はない場合もあるため、基本的にはお子さんのアレルギーを考慮しながら支援をしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0		